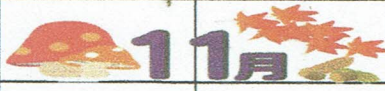


日	月	火	水	木	金	土
 11月					1	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6 汐7歳 わら遊び	7 おむすび さつまいも掘り (希望者) わらの家キャンプ このあたりのびい。	8 科学実験教室	9
10 (きく よさこい)	11	12	13 (修学旅行プレゼン(この日のびい))	14 おむすび	15	16
17 修学旅行マルシェ&ミニ音楽会	18	19	20 収穫を祝う日	21 おむすび マ1回んぼり お米を食べる日	22	23 空11歳 勤労感謝の日
24	25	26	27 あこ9歳	28 おむすび みんなの ひとつのじかん	29 おむすび 海の日	30

○ おむすびの日 (緑色の日) 日には未定ですが、1~4年生は修学旅行の間はどこかへ行きます♪ \*青字・誕生日\(^o^)/

◆♪\*...◆♪\* ◆お知らせ◆♪\*...◆♪\*

冬時間スタート!

11月から3月までは冬時間。16時30分までにお迎えです。今年はまだ暖かいけれど、おひさまが隠れると、一気に寒~いてらこや。(火が恋しい時期が来ますね。) どうぞよろしくお願ひします(\*^^\*)  
難しい日は遠慮なくスタッフにご相談ください。

修学旅行(^^)&小さな旅

今年度修学旅行参加メンバー、11月最終週出発を目指し、世界遺産屋久島に向けて準備を始めています。17日修学旅行マルシェ、ぜひいらしてください。1~5年生の他のメンバーで行く小さな旅も、プロジェクトメンバーが決まり、いよいよ動き始めます。

11月はフェリーが満席のため  
12月第1週  
出発を目指し!

◆♪\*...◆♪\* ◆ふっくんのコーナー「大山」◆♪\*...◆♪\*

「なぜ山に登るのか、そこに山があるからだ。」と、イギリスの有名な登山家ジョージ・マロリーは言ったそう。シンプルで素晴らしい言葉だと思う。ただ、あえて言わせてもらおうと、そこに山があるからと言って、登る人もいれば、登らない人もいる。ただ眺める人もいれば、絵に描く人もいられる。今回の僕たちはなぜ登ったのか?それはスタッフプランだから。最初は気が乗らなくても、行ってみると案外良かったりすることもあると思う。きっかけは時に新たな扉を開けてくれる。大山はきくが山を好きになるきっかけになった山だ。

僕自身、大山は登ったことがなかったし、中国地方のてっぺんはどんな感じだろうと楽しみにしていた。ただ、1人でも行くか?と言われたら、たぶん行かないと思う。そういう意味ではてらこやで機会を貰えてありがたく思う。山登りが勢のきくが以前、山登りについて話してくれることがあった。山登りは全てが楽しいと言っていた。「山に行くまでも楽しいし、下から眺めるのも楽しい。登っている途中も楽しくて、頂上に着いたら嬉しいし、楽しい。降りる時も楽しくって、帰る前にもう一度登った後の山を見るのも楽しい。」と語っていた。とにかく全部楽しい!と言っていて、相当好きなんだなと思った。自分もそう思えるのかなあ?とも思った。

今回の大山を振り返ってみる。大山に行くまでの車移動は長かったけど、音楽をたくさん聞いたし、いろんな話をしたりした。宍道湖で食べたお弁当はおいしかった。下から眺める大山は初日は曇っていて見れなかったが、登る日はその神々しい姿を見せてくれた。登っている途中は、たくさん登山客がいることに驚きつつ、しりとりやお話をしながら元気よく登った。北壁という斜面をゴオーっと音を立てて石や岩が崩落する貴重な場面にも遭遇することができた。今も変化を続ける大山を感じた。頂上付近に辿り着くと、先に着いたグループが応援してくれて嬉しかった。無事頂上へ到着!頂上で食べる手作り弁当は特別美味しい。食べながら、自分たちが雲の中にいるのを感じたり、雲を見下ろしたり、雲が変化するのを眺めた。しっかり休んで、下山する。下るのはテンポが速い。荷物も軽くなって、みんな軽快な感じだった。(僕は膝がプルプル)

無事下山して、楽しみにしていたソフトクリームにありつく。一年生たちは鼻やほっぺにアイスをつけながらも嬉しそうに食べていた。帰路に着く背後に大山を感じる。登ったことのない山から、登った山になったことが感慨深い。

あれ?こうして振り返ってみると、めっちゃ楽しんでる!きくの言ったのってこういうことか~。筋肉痛という名の余韻に3日くらい浸ることもできたし笑。みんなと行く登山なら全部楽しい思い出になるんだなと感じた。